



ニューデリー日本人学校 学校だより
グルモール

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2017

<http://www.ndjs.org/>

第8号
平成29年12月22日

2017日印友好交流の年

校長 岡林 保幸

本年は日印友好交流の年として、各地で様々なイベントが開催されました。その最後を飾るイベントの開会式で、G7・8生徒のよさこいソーランとG6児童の和太鼓を披露できたことを光栄に思います。このスポーツ・オーソリティー・オブ・インディアとのスポーツ交流では、柔道オリンピック・メダリストの西山将士先生、中村美里先生による講話とコーチングを中心に、剣道、空手、インドの伝統的格闘技のデモンストレーションも行なわれました。

ニューデリー日本人学校は、日印友好交流の一翼を担う存在です。私たちは、今年の友好交流を一過性のものとして終わらせず、継続していくことで、日印関係をさらに深めていかなければならないと考えています。そのためには、今後も人的交流や文化・スポーツ交流等を通じて、インドの方々に日本への理解や興味・関心を深めてもらうための努力が必要であり、私たちもインドを主体的に深く学び続ける必要があると思います。

さて、日本では、1年の終わりから新年にかけて除夜の鐘を打ち、108つの煩惱を消滅させ、新たな年への期待と願いを込めるという習慣があります。この大晦日から新年にかけての伝統は、私たちに1年間を振り返り、新しい年に思う夢と希望を確認し、その実現に向けて取り組もうとする厳粛な環境を提供してくれます。

新しい年は、何度迎えても身が引き締まる思いがします。「一年の計は元旦にあり」の諺には続きがあり、戦国大名の毛利元就が、「一年の計は春にあり、一月の計は朔（ついたち）にあり、一日の計は鶏鳴（けいめい）にあり」と、長男の毛利隆元への手紙に書いたそうです。春は年初め、朔は月初めのこと、鶏鳴は一番鶏の鳴く早朝のことから、これは「1年の計画は年の初めに、ひと月の計画は月初めに、今日の計画は朝に立てなさい」という意味になります。1年間の目標や計画は、元旦に決めるのがよく、何事も最初の計画や準備が大切であり、しかも早くやったほうが良いという教えです。

子どもたちにとっては、クリスマスやお正月と待ちに待った季節だと思いますが、是非、ご家族の皆様と一緒に年を振り返り、来る年への夢や希望、新年の目標や計画について話し合う機会をもつていただきたく存じます。よいお年をお迎えください。

2学期を終えるにあたり、保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。また、新年もどうぞよろしく願いいたします。



2017

The Year of Japan-India
Friendly Exchanges

＜中学部：先輩から学ぼう（最終回）＞

前号でもお伝えした中学部の「先輩から学ぼう」。11月30日(木)に行われた最終回の講師として、本校理事長の山内啓市様が登場されました。

山内様は「デンソー」にお務めで、世界遺産検定のマイスターの資格をもつほど世界遺産に大変造詣が深い方です。自身が世界遺産に興味をもった経緯や現在の変化の激しい時代に大切にすべきことなど、子どもたちに分かりやすく説明してくださいました。世界遺産は1073件もあり、そのうちの36件がインドにあるとのこと。山内様はもう20件を回られたそうです。子どもたちに世界遺産に興味をもってもらい、世界に羽ばたいてほしいという願いを伝えられました。



＜ぴっかぴか清掃＞

PTA活動である「ぴっかぴか清掃」が行われ、子どもたちと保護者の方が協力して、普段なかなかきれいにできない所まで掃除に取り組みました。1時間の活動で、校舎の汚れがすっかり落とされました。これで新年をきれいな校舎と気持ちで迎えることができます。

この掃除で学んだことを、ぜひ自宅の掃除でも生かしてほしいと思います。美化委員の皆様、ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



＜スポーツ交流イベント参加＞

「日印友好交流年」の今年の最後のイベントとして行われましたスポーツ交流イベントのオープニングセレモニーに、本校の6・7・8年生が参加しました。

会場の「Indira Gandhi Stadium Complex K.D. Jadhav Hall」は5,000人も収容できる施設です。子どもたちは大使をはじめご来賓の皆様の正面ですばらしい発表を見せ、大きな拍手をいただきました。インド人の学生も大勢来場し、日印のスポーツの紹介を楽しみました。

◆12月の主な出来事◆

- 1日(金) ぴっかぴか清掃
- 6日(水) 8年修学旅行：アワンガパード（8日まで）
- 8日(金) 2年生校外学習「学校周辺」
- 12日(火) 個人懇談（15日まで）
- 16日(土) 日印友好交流年・スポーツ交流イベント参加（6・7・8年）
- 22日(金) 2学期終業式
- 23日(土) 冬季休業開始（1月7日まで）

12月の転出入	
転入 0名	転出 8名
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>ニューデリー日本人学校の友達のことを忘れずに、新しい学校でもたくさんの友達をつくってくださいね。</p> </div>	瀧上 修平 (小1)
	松浦 蓮 (小1)
	小倉 蓮 (小2)
	市野 杏月 (小2)
	橋本 一稀 (小2)
	蔵野 皓亮 (小2)
	藤川 葵 (小5)
	海沢 理緒 (中2)
現在の児童生徒数：計264名	

◆冬季休業中の工事について◆

23日(土)からの冬季休業期間を利用して校舎の安全対策強化工事を行います。新校舎各階の安全シャッターの取付や避難用扉の交換、体育館やプールの鉄扉の交換等を行います。ご来校の際にはご注意ください。工事の現場には近づかないようお願いいたします。



インドはすごいぞ！ 修学旅行&校外学習

11月19日(日)～21日(火) G6 ジャイプール

私は、修学旅行でインドの世界遺産を見学して、料理がおいしいITCホテルに泊まりました。世界遺産を見学した時は、H. I. S. のガイドさんのお話を聞いて、インドの歴史を知ることができ、インド独特の文化を肌で感じることができました。以前に私はジャイプールへ行ったことがあったけれど、G6のみんなで行くジャイプールは違うものを見ているようで、感動も大きかったです。何より、一番に感じられたことは、普段あまり話さない人とも3日間一緒に過ごして、みんなの絆が深まったことです。G6のみんなが無事に修学旅行に行けたこと、そして保護者の方やH. I. S. のみなさん、先生方に感謝したいです。(G6)

バスの中は、蜂の巣をつついたような賑やかさです。予定より早くジャイプールに到着しました子どもたちはホテルのチェックインを済ませ、シティパレスの見学へ、そして予定を変更して早々にお土産を買いに向かいました。夜のレクも大変な盛り上がりを見せ、子どもたちの旅行に対する思いがあふれていました。

翌日はアンベール城へ。ゾウタクシーに揺られて入城し、壮麗な内部をじっくり見学しました。午後はジャンタル・マンタル見学とブロックペインティング体験です。どこに行っても楽しそうな子どもたち。終始笑い声が響きます。夕食の際は、インド人ダンサーと一緒に踊るなど、思い出を1つ増やしました。

最終日はピンクシティを象徴する風の宮殿の見学です。子どもたちは3日間元気いっぱい、生涯忘れられない思い出深い修学旅行となりました。



11月23日(木)・24日(金) G5 アグラ

早朝より子どもたちを乗せたバスは、一路アグラを目指しました。まずはアグラ城へ行き、その壮大な建物を見学しました。そして、ホテルにチェックイン。昼食後はタージマハルの見学です。これまで訪れたことのある子どもたちもいますが、ガイドさんの話を聞いたり大勢で見学したりすると新しい発見が幾つもありました。そして、笑顔いっぱいの写真をたくさん撮りあって楽しみました。

翌日の午前中は象嵌細工の見学とお土産探しです。家族へのお土産を真剣に選びました。午後はNoidaにあるHONDA自動車工場を見学させていただきました。この校外学習のために様々なご準備をいただき、また、自動車製造ラインを間近で見学することができ、社会科の学習を深めることができました。ありがとうございました。

わずか2日間ではありましたが、到着した子どもたちの表情は充実感でいっぱいでした。子どもたちにとってまさに「冒険」の2日間でした。

11月23日にまことにまった校外学習がありました。ぼくは、校外学習が始まる前から係を決めたり準備したりしていたのでとても楽しみでした。1年生の時からずっと行きたかった校外学習が始まるので、すごくときどきしていました。そしてバスに乗っている時、車で行くのちがってとてもはやくつきました。それはレクがとても楽しかったからだと思いました。そしてアグラ城についたら、まず記録係なので写真をとりました。そしてガイドさんの話を聞きました。写真をとるので大変だったのであまりメモをとれませんでした。そしてホテルのレストランでお昼ごはんを食べました。

次にタージマハルに着きました。タージマハルではタマネギつまみの写真をとったりして、とても楽しかったです。そしてホテルにかえてタージマハルのことを書きました。みんなでいっしょに行ったので家族と行くよりいっぱい学習できました。とてもいい校外学習でした。(G5)



12月6日(水)～8日(金) G8 アジャンタ・エローラ

「学ベアジャンタ 楽しめエローラ そして熱く盛り上がり」という、まるで運動会のような勢いのあるスローガンの基、中学部2年生がアウランガバードへの修学旅行に行ってきました。空港に朝早くから集合しましたが、眠いはずがありません。子どもたちはこれから始まる修学旅行に心躍らせていました。飛行機はムンバイを経由して目的地へ。夕方にはさっそく現地舞踏学校で伝統舞踊を体験しました。

翌日は、アジャンタ石窟群へ。そのスケールの大きさに圧倒されました。そして、夕方には細密画を体験しました。最終日の3日目は、ミニ・タージマハルと言われるビビカ・マクバラを訪問した後、エローラ石窟群へ。巨大な数々の石像を目の当たりにし、インドの壮大さを感じました。インドの歴史を堪能するだけでなく、友達との絆をしっかりと深めた実り多い3日間となりました。

私たちは、今回の旅行でアウランガバードに行きました。主に見学したのは世界遺産であるアジャンタ石窟とエローラ石窟です。アジャンタ石窟は仏教寺院で、様々な壁画が残っています。また、エローラ石窟は、仏教、ヒンドゥー教、ジャイナ教の寺院があり、彫刻が多く残っています。これらの見学やその他の体験活動を通じて私たちはたくさんインド文化にふれることができました。

そして、今回の旅行は私たちの生活面にも影響を与えたのではないかと思います。例えば、身の回りの整理。今までより意識してきれいにしようとした人も少なからずいたのではないかと思います。それ以外にも時間厳守、食事マナーなどクラスという集団の中で注意して過ごせるようになったと思います。

今回、私は修学旅行実行委員として、事前の話し合いを取りもったり、当日は班長としてみんなをまとめたりしました。今まであまり自主的に行動することはなかったのですが、今回の旅行を通じてリーダーとして行動ができるようになったと思います。(G8)



◆新スタッフ紹介◆

インド人スタッフの交代と新規の採用がありましたので紹介いたします。

保安技師長	看護師	バス事務員
プラカシュ E.P.Prakash	ミナクシ Meenakshi	ミヌ Meenu
		

新スクールバス2台納車

2台のスクールバスが納車されました。座席数はこれまでよりも少ない19席。車両の長さは3分の2程度です。子どもたちを乗せてこれから活躍します。この納車により古いバス2台は売却処分されます。



◆リモコンを探しています◆

図書室にある3つと、PTA室にある2つの空気清浄機のリモコンがなくなり困っています。平日ではなく土曜・日曜の間になってしまいました。

何か紛失することはいいことではありません。こうしたことが起こることを残念に思います。所在をご存じの方がいらっしゃいましたら学校までご連絡ください。小さなリモコンといえども学校の大切な備品であることにかわりありません。

◆学校閉鎖期間のお知らせ◆

以下のインド祝日及び期間は、学校を閉鎖させていただきます。スタッフもお休みをいただくため学校内に入ることはできません。ご注意ください。

- 12月25日(月) Christmas (クリスマス)
- 12月29日(金)～1月3日(水)
年末年始休業日
- 1月26日(金) Republic Day
(共和国記念日)